

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ https://www.nkkswitches.co.jp/ において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務課：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

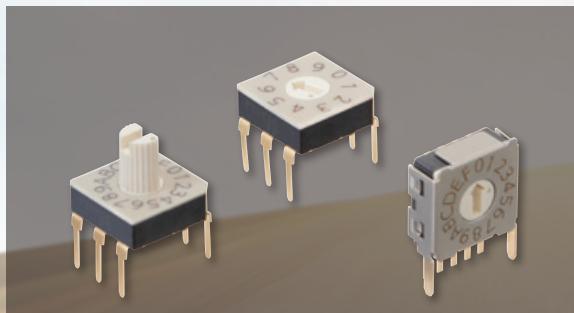
第71期報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

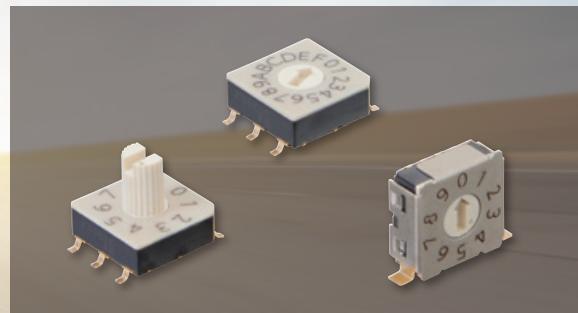
NKKスイッチズ株式会社

すべてのお客様の製品の品質向上に役立つべく、NKKは絶えず革新し続けます

New Products



リードスルー形



面実装形

FD01シリーズ/FD02シリーズ

リードスルー形/面実装形 極超小形ディップロータリスイッチ

「FD01シリーズ/FD02シリーズ」は、7.2mm角、高さ3.3mmで高密度実装による省スペース化が可能なディップロータリスイッチです。

金属バネを使用し、スムーズで歯切れの良い操作感を実現しました。また、反発力を分散させる可動接片形状で接触部の接触安定性を高めています。

多様な用途に応じて選択できるように、操作部はフラットタイプとツマミタイプを取り揃え、端子部形状は端子間ピッチにインチピッチを採用したリードスルー形とリフローによるはんだ付けが可能な面実装形の2タイプをラインナップしました。

電子部品市場は在庫調整局面にありますが 第I期中期経営計画を着実に推進してまいります。



代表取締役社長

大塚智成

この1年間の外部環境と、 当期業績の概況をお聞かせください。

2024年3月期における世界経済は、各国でインフレ抑制に向けた金融引き締め政策が続く中、米国では堅調な景気を維持しているものの、中国経済の停滞継続、欧州における景気減速の顕在化、地政学的な緊張の高まりなど、先行き不透明感がさらに強まっております。日本経済におきましては、緩やかな回復基調が見られるものの、世界的に2021年来の半導体不足や原材料不足から来る過剰な先行受注によって結果的に市場在庫が積まれている状況にあり、さらに原材料およびエネルギー価格の高騰、物価上昇の影響等により、予算を許さない状況が続いております。

当社グループが属するNECA（一般社団法人日本電気制御機器工業会）の統計データによれば、2023年度における制御機器市場の出荷総額は前年比82.8%に留まりました。

このような環境の中、当社グループは2030年のありたい姿として制定した新グループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2023年3月期から3カ年の中期

経営計画に取り組んでおり、「信頼」と「納期」を重点テーマとして総力を結集して、これらに関する戦略を積極的に展開いたしました。

売上面につきましては、日本、欧米、アジアの各市場において電子部品需給が在庫調整局面に入り受注が厳しい状況ではありましたが、過去の受注残が下支えとなって売上の急激な落ち込みを回避したり、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューション」の売上高が積極的な拡販活動によりプラス成長した結果、業界標準よりも落ち込みを抑制することができました。

利益面につきましては、原材料およびエネルギー価格等の高騰、持続的な成長に向けて積極的な投資を行っていることから、売上原価や販売費および一般管理費が増加したことなどにより、営業利益、経常利益とも、大幅な減益となりました。

これらの結果、当社グループの2024年3月期における売上高は9,441百万円（前年同期比8.6%減）、営業利益は369百万円（同58.4%減）、経常利益は459百万円（同56.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は389百万円（同52.9%減）となりました。

中期経営計画の重点テーマの進捗状況をお聞かせください。

2022年度からの3カ年の第Ⅰ期中期経営計画で掲げた重要テーマのうち、「信頼」につきましては毎年1回社員を対象にエンゲージメントサーベイ（＝社員視点による会社とのつながりの強さを数値化して把握し、改善するための調査）を実施し、その結果を踏まえて社員のエンゲージメントの改善につながるよう取り組んでいます。経営は企業の原点は人だと考えており、人に焦点を当てる中で「信頼し、信頼される経営」を実践し、意識することなく信頼・尊重・感謝ができる活力ある職場を強化することにより、当社グループがワンチームとなりさらに成長していくことを目指しています。実際には、経営と社員の接点を増大する中で対話を促進させたり、現場目線を持った経営を目指すとともに、信頼・尊重・感謝に関する制度の確立や社員の育成を促進し、社員のエンゲージメントを引き続き高めていきたいと考えております。また「納期」につきましては、金型の更新がボトルネックと

なっておりますが、昨年度に続いて主に売れ筋商品を中心に過去の4倍を超える金型更新を実施いたしました。今後もボトルネック工程を一つずつ解消し、納期問題の抜本的な改善を図りたいと考えております。

NKKグループとしての生産体制の方針をお聞かせください。

NKKグループはかつて日本で商品を生産・販売し、一部を北米の販売子会社を通じて現地販売する企業体でした。2003年に私が社長に就任して以降、グローバル化を加速させて海外に販売拠点や生産拠点を増やしてまいりました。現在、NKKグループは、日本・中国・フィリピンで生産しており、各生産拠点の特性を活かしつつ役割分担をした生産を行うとともに、分散した生産拠点を持つことで不測の事態にも対応できる生産体制を整えました。一方、当社のメーカーとしての強みは、過去より築き上げてきた「品質」と「技術」です。海外に生産の現場が出ていくと、技術の伝承や指導、

向上が難しくなるという課題が出てきます。その課題に対応するため、ものづくりの再整備を行うべく日本に新工場を設立し、その対応を図ってまいりたいと考えています。

サステナビリティに関する取り組みをお聞かせください。

当社グループではサステナビリティをめぐる問題を単なる環境問題とはとらえておりません。リスクの低減のみならず、収益機会にもつながる重要な経営課題と認識しております。このためサステナビリティについて環境・社会・ガバナンス・人的資源という4つのカテゴリーに分けた上で、12項目にわたる取り組みを推進しています。これにつきましては当社ホームページにも掲載しております。但し、これらは特別に始めたことではなく、以前から取り組んできたものです。例えば、環境負荷物質（カドミウム、鉛、水銀、六価クロム等）については、20年以上前から使用を制限し、低減に取り組んできたものです。当社グループは引き続き社会が要請するサステナビリティ、SDGsに対応する行動を推進してまいります。

創立70周年を迎えられて、改めて感想をお聞かせください。

当社グループの長い歴史の中では、先のコロナ禍をはじめ、リーマン・ショックや東日本大震災など、私の社長在任期間中においてもたびたび大きな危機に遭遇してまいりました。しかしながらこの一つひとつの苦労や経験が、成長の踏み台になり、原動力となり、良いアイデアを生み、それを一つひとつ実現に結び付けてきたことが、今のNKKグループにつながっていると思います。

また、今日ある当社グループの地位は当社だけの力で築か

れたものではありません。株主の皆様、お客様、代理店様、協力会社様など、あらゆる方々のお力添えの賜物と考えております。このことに我々が報いることが、次の発展につながると確信しております。

2025年3月期の市場環境について見通しを伺えますか。

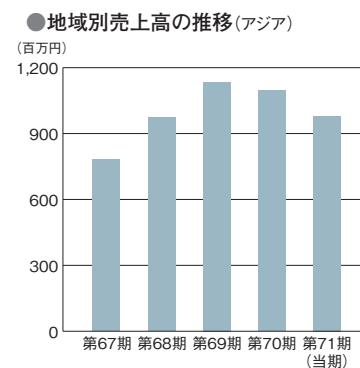
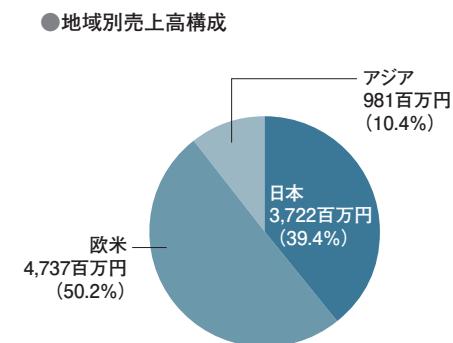
現在、電子部品市場が在庫調整局面となっているのは事実ですが、これは景気の落ち込みによるものではなく、原因は過去の過剰な先行発注にあると見られています。実際に、半導体業界や自動車業界では2024年度に前年度を上回る設備投資が予想され、工作機械やロボット業界も前年度並みの需要が予想されています。こうしたことから当社も在庫が一巡すれば、受注が回復すると見ております。市場が正常な姿に戻った時、スタートダッシュを切れるかが我々の勝負どころです。進行中の案件が正式受注になるように努力してまいります。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

NKKグループは多くの方々に支えられて、無事70周年を迎えることができました。改めて株主様をはじめ、関係者の皆様へ感謝申し上げます。我々はグループビジョンである「私たちが笑顔になり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、「信頼」と「納期」を重点テーマに、高い技術力、高い品質力をもってお客様の困りごとを解決し、新たな価値を提供するため、グループの総力を結集して戦略を重点的に実行してまいります。

株主の皆様には何卒ご理解いただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 地域別売上高の推移



NKK品質の確立を目指して

NKKグループは「品質」と「技術」を武器に70年の歴史を刻んでまいりました。その「品質」と「技術」は私たちの試験室で繰り広げられる様々な試験を通して培われた結果であり、今後もその姿勢を崩すことなく、さらに研究開発や品質維持活動を強化していきたいと考えています。しかし70年間拡張し続け、フル稼働してきた試験室も老朽化は否めず、この70周年を機に更なる強化のために試験室を4倍に拡張し、多くの試験設備を刷新しました。これにより、試験品の取り付けや設定等もしやすくなり試験作業効率を上げることはもちろんのこと、試験時の操作スピードや開閉時間・負荷の細かい設定が可能となったことでバラツキの低減や試験の再現性を高めることにより品質精度の向上を図り、今後ともNKKグループは競合の追従を許さない「品質」と「技術」を追求し、お客様に安心・安全を提供し続けてまいります。



▲新試験室外観 2F搬入口



▲新しくなった試験設備



▲リニューアルされた耐久試験機

創立70周年

当社グループは2023年12月11日に創立70周年を迎えました。スイッチー筋で70年歩むことができたのは、株主の皆様をはじめ、お客様や代理店様、協力会社様など多くの方々にご支援いただいた賜物と心より感謝申し上げます。

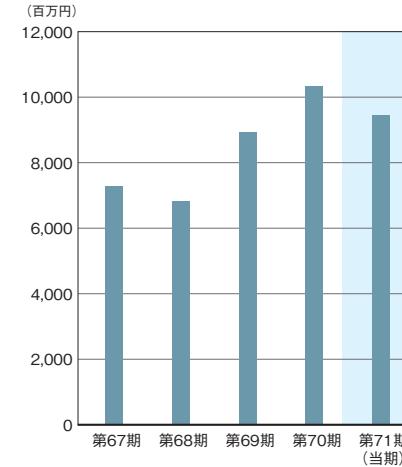
今後も真摯な姿勢でお客様と向き合い、お客様との真のパートナーシップを醸成し、さらにはメーカーとしての役割を誠実に追求していくことによって、次のステージに進んでいきたいと考えています。



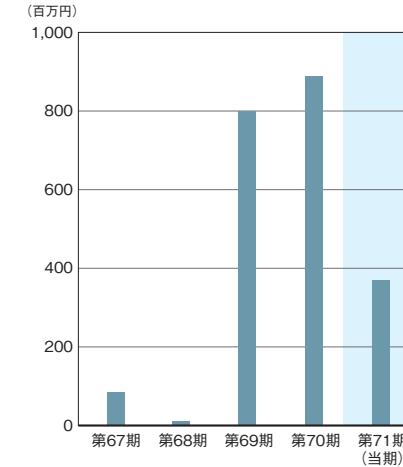
▲70周年記念式典

主要財務データ (連結)

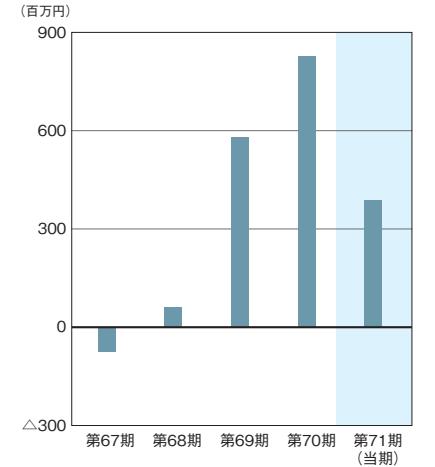
●売上高



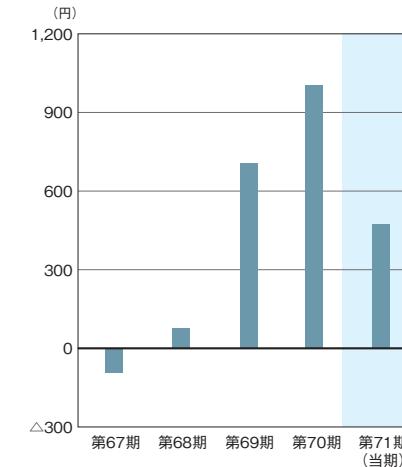
●営業利益



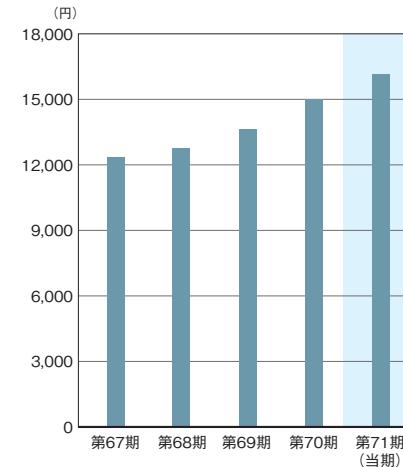
●親会社株主に帰属する当期純利益



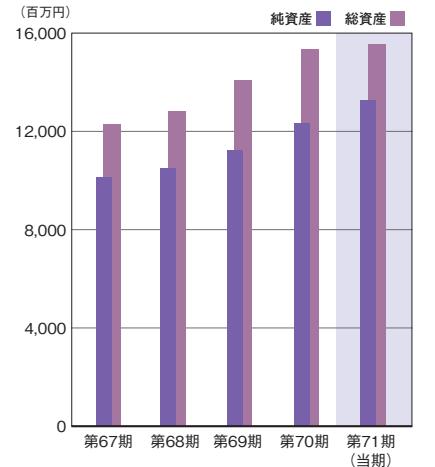
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産



●純資産／総資産



■ 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2024年3月31日)	前期 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産	10,032,344	11,166,560
現金及び預金	4,840,626	5,388,497
受取手形	392,207	562,713
売掛金	1,038,674	1,066,624
商品及び製品	1,366,268	1,489,723
仕掛品	72,332	80,323
原材料及び貯蔵品	1,846,903	2,026,074
前払費用	65,315	58,860
その他	415,442	498,856
貸倒引当金	△ 5,426	△ 5,113
固定資産	5,503,115	4,186,827
有形固定資産	3,359,995	2,286,673
建物及び構築物	1,228,146	1,164,131
機械装置及び運搬具	276,974	244,908
工具、器具及び備品	467,984	187,634
土地	1,039,125	359,510
リース資産	287,425	109,399
建設仮勘定	60,339	221,088
無形固定資産	253,712	55,658
投資その他の資産	1,889,406	1,844,496
投資有価証券	1,260,390	1,223,206
長期貸付金	187,091	201,931
繰延税金資産	81,661	77,128
長期預金	200,000	200,000
その他	160,263	142,228
資産合計	15,535,459	15,353,388

(単位:千円)

科目	当期 (2024年3月31日)	前期 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債	1,516,174	2,476,422
買掛金	563,888	1,464,341
未払法人税等	27,777	114,295
賞与引当金	103,819	108,301
役員賞与引当金	25,000	30,000
未払金	351,092	378,512
未払消費税等	13,969	8,891
未払費用	250,647	237,825
リース債務	61,811	17,980
その他	118,166	116,274
固定負債	747,256	553,594
繰延税金負債	227,710	168,460
退職給付に係る負債	65,566	81,437
役員退職慰労引当金	209,800	197,800
リース債務	243,674	105,364
その他	505	532
負債合計	2,263,430	3,030,017
純資産の部		
株主資本	11,410,152	11,124,449
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,787,867	9,501,461
自己株式	△ 162,818	△ 162,116
その他の包括利益累計額	1,859,970	1,197,177
その他有価証券評価差額金	611,373	530,561
為替換算調整勘定	1,248,596	666,615
非支配株主持分	1,906	1,744
純資産合計	13,272,029	12,323,371
負債純資産合計	15,535,459	15,353,388

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	前期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	9,441,407	10,328,644
売上原価	5,612,388	6,164,559
売上総利益	3,829,019	4,164,085
販売費及び一般管理費	3,459,102	3,274,996
営業利益	369,916	889,089
営業外収益	109,779	174,391
営業外費用	20,549	20,705
経常利益	459,146	1,042,775
特別利益	202,895	57,542
特別損失	95,708	6,422
税金等調整前当期純利益	566,334	1,093,895
法人税、住民税及び事業税	153,741	293,635
法人税等調整額	23,166	△ 27,165
当期純利益	389,426	827,425
非支配株主に帰属する当期純利益	162	1,149
親会社株主に帰属する当期純利益	389,264	826,275

■ 連結株主資本等変動計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	951,799	833,305	9,501,461	△ 162,116	11,124,449	530,561	666,615	1,197,177	1,744	12,323,371
当期変動額										
剰余金の配当			△ 102,859		△ 102,859					△ 102,859
親会社株主に帰属する当期純利益			389,264		389,264					389,264
自己株式の取得				△ 702	△ 702					△ 702
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						80,812	581,980	662,793	162	662,955
当期変動額合計	—	—	286,405	△ 702	285,702	80,812	581,980	662,793	162	948,658
当期末残高	951,799	833,305	9,787,867	△ 162,818	11,410,152	611,373	1,248,596	1,859,970	1,906	13,272,029

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	前期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	425,279	614,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,057,143	△ 606,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 143,828	△ 166,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	227,822	131,155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 547,871	△ 27,511
現金及び現金同等物の期首残高	5,388,497	5,416,009
現金及び現金同等物の期末残高	4,840,626	5,388,497

■ 貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (2024年3月31日)	前期 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産	6,987,720	8,703,794
固定資産	5,634,447	4,720,268
資産合計	12,622,168	13,424,063
負債の部		
流動負債	2,612,746	3,840,219
固定負債	459,935	421,449
負債合計	3,072,682	4,261,669
純資産の部		
株主資本	8,938,112	8,631,832
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	7,315,826	7,008,844
自己株式	△ 162,818	△ 162,116
評価・換算差額等	611,373	530,561
純資産合計	9,549,485	9,162,394
負債純資産合計	12,622,168	13,424,063

■ 株主資本等変動計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本計		その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等
		資本準備金	資本剰余金計	利益準備金	固定資産圧縮記帳積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金計					
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	17,513	5,600,000	1,209,413	7,008,844	△ 162,116	8,631,832	530,561	530,561	9,162,394
当期変動額													
剰余金の配当							△ 102,859	△ 102,859		△ 102,859			△ 102,859
固定資産圧縮記帳積立金の取崩					△ 788		788	-		-			-
当期純利益							409,841	409,841		409,841			409,841
自己株式の取得									△ 702	△ 702			△ 702
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											80,812	80,812	80,812
当期変動額合計	-	-	-	-	△ 788	-	307,769	306,981	△ 702	306,279	80,812	80,812	387,091
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	16,725	5,600,000	1,517,183	7,315,826	△ 162,818	8,938,112	611,373	611,373	9,549,485

■ 損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)	前期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)
売上高	7,597,232	8,795,781
売上原価	5,622,995	6,659,092
売上総利益	1,974,237	2,136,689
販売費及び一般管理費	2,047,061	2,052,234
営業利益又は営業損失	△ 72,823	84,454
営業外収益	462,282	369,015
営業外費用	46,712	33,901
経常利益	342,746	419,568
特別利益	202,410	-
特別損失	95,708	4,989
税引前当期純利益	449,449	414,579
法人税、住民税及び事業税	30,576	39,289
法人税等調整額	9,031	△ 30,027
当期純利益	409,841	405,318

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	1951年4月1日
設立	1953年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結282名 単体143名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ バイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Europe GmbH NKK Switches Mactan, Inc. 恩楷楷开关(东莞)有限公司
ホームページ	https://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
専務取締役	大橋 宏成
取締役	海老沼 博行
取締役	芦澤 直太郎 (社外)
取締役	津留崎 貴子 (社外)
監査役	青木 明裕
監査役	京谷 典昭 (社外)
監査役	内木 雅彦 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	565名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッジ	132	16.04
株式会社TNNアドバイザーズ	42	5.13
株式会社三井住友銀行	40	4.98
株式会社SBI証券	31	3.84
大橋 宏成	30	3.71
大橋 尚子	28	3.41
INTERACTIVE BROKERS LLC	20	2.54
大橋 智成	20	2.49
大橋 千津子	20	2.44
久保田 正明	20	2.43

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

